

再 意 見 書

平成 21 年 3 月 17 日

情報通信行政・郵政行政審議会
電気通信事業部会長 殿

郵便番号 105-0001

とうきょうとみなとくちらのもん
住 所 東京都港区虎ノ門 2-10-1
氏 名 イー・アクセス株式会社

だいひょうとりしまりやくしゃちょう ふかだ こうじ
代表取締役社長 深田 浩仁

郵便番号 105-0001

とうきょうとみなとくちらのもん
住 所 東京都港区虎ノ門 2-10-1
氏 名 イー・モバイル株式会社

だいひょうとりしまりやくしゃちょう
代表取締役社長 エリック・ガン

連絡先

mail :

TEL

FAX

情報通信行政・郵政行政審議会議事規則第 4 条及び接続に関する議事手続規則第 2 条の規定により、平成 21 年 1 月 29 日付け情郵審第 11 号で公告された接続約款の変更案に関し、別紙のとおり再意見を提出します。

NGNに係る平成 21 年度の接続料の設定における接続約款の変更案に対し、再意見を申し述べる機会をいただき、誠にありがとうございます。弊社意見を下記の通り申し述べさせていただきます。

意見提出者	該当箇所	弊社意見
ソフトバンク B B 株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社	<p>3. 接続料算定の客観性・透明性の確保について</p> <p>(1) 予想される設備数及びトラヒックの検証</p> <p>将来原価方式の採用に当たり、予測と実績の乖離が発生しないようにするためにも、需要予測の精度を高めることが必要です。従って、今回の認可可否の検討にあたっては、NTT 東西殿より提示されている予想される設備数及びトラヒックの妥当性を検討すべきであり、加えて、今後の予測の算出については、NTT-NGN 接続料研究会の場を活用し、関係者間で十分に議論を行っていく等のプロセスを採用すべきと考えます。</p>	<p>ソフトバンク殿のご意見に賛成致します。</p> <p>NTT 東西殿においては、B フレッツにおける加入者計画を下方修正し（NTT 殿「2009 年 3 月期第 2 四半期決算資料」（2008 年 11 月 7 日付））当初予定していた 2010 年度 2000 万加入達成も困難な状況となっており、新たな研究会の立上げに関わらず、需要予測を検証することは適正な接続料を算定する上で非常に有用であると考えます</p>
ソフトバンク B B 株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社	<p>(2) コストドライバの今後の在り方</p> <p>コストドライバについては、客観性・透明性等の観点からは実績トラヒック比の採用が望ましく、まずは NTT-NGN 接続料研究会において将来の採用可能性について引き続き検討を行うべきです。その上で、平成 20 年 12 月 25 日公表の「次世代ネットワークに関する接続料算定等の在り方について 報告書」において、本来は想定トラヒック比が望ましいところ暫定的にポート容量比による費用配賦を認めることが適当、とされていることを踏まえると、実績トラヒックが採用可能となるまでの期間に</p>	<p>ソフトバンク殿のご意見に賛成致します。</p> <p>弊社意見にもあります通り、より適正な接続料の算定及び費用配賦の基本的な考え方である活動基準原価帰属（ABC）を早期に実現すべく、トラヒック等のアクティビティに着目したドライバを平成 22 年度適用の接続料から採用できるよう検討が必要であると考えます。</p>

意見提出者	該当箇所	弊社意見
	<p>おいての当面の次善の策として、想定トラヒック比の早期適用を目指すべきと考えます。</p>	
<p>ソフトバンクBB株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社</p>	<p>(3) 帯域等換算係数及びQoSの加味の適正性 帯域等換算係数は、利用者料金とコストのバランスや適正性等の観点において許容し難い乖離等の存在があり、公正競争確保の観点から問題がある場合にはじめて導入が検討されるべきものです。今回の補正により、映像系サービスやテレビ電話等に係る費用が、従来の電話に置き換えられ得る基本的サービスであるひかり電話の費用に片寄せされることがあってはならず、今回の認可にあたっては、まずは帯域等換算係数を用いずに算定した場合のコスト配賦の結果及び接続料水準を公表の上、当該係数の採用の妥当性を検討すべきです。</p> <p>報告書案に対する弊社共意見書で述べたとおり、帯域等換算係数やQoSの効果の考え方については、ネットワーク設備をどのような方針に基づき補強するか条件に左右される等、非常に複雑な問題であることから、これらの要素をどのように考慮すべきかについては、NTT-NGN接続料研究会において議論を深めることが必要と考えます。</p>	<p>ソフトバンク殿のご意見に賛成致します。</p> <p>帯域等換算係数及びQoSの加味については今回はじめて導入が検討された係数であり、その適正性について、新たな研究会の立上げに関わらず、議論を深め検証していくことは非常に重要なことであると考えます。</p>

以上